

2018年度 慶應義塾大学 法学部 FIT (AO) 入試

～制度・概要のご案内～

慶應義塾大学法学部ではこれまで、様々な能力を持った学生たちが集まるよう、入試制度の多様化を図り、多様な学生を多様な方法で評価できるように努力してきました。能力や経験を異にする学生たちが互いに切磋琢磨しあう環境の中でこそ、法律学や政治学の修得がより実り豊かなものになると考えているからです。

このような観点を一歩おし進めて、2006年度より導入されたのがFIT入試です。FIT入試は、「第一志望で慶應義塾大学法学部法律学科・政治学科で勉強したい」学生と、「この学生を教えたい」という私たち法学部教員との良好な相性（fit）を実現しようとするものとしてスタートした入試ですが、受験生の側の「慶應の法学部で学びたい」という姿勢が入学後の勉学意欲に反映され、好成績をあげてきました。

2012年度からは、従来型のFIT入試（A方式）に加え、地域ブロック枠という考え方を採用した入試制度（B方式）を導入しました。

FIT入試（B方式）においては、様々な地域の個性ある学生の「慶應で学びたい」という意欲に応えたいと考えています。そしてそれらの学生が、卒業後にその才能と慶應義塾大学法学部で学んだ成果を、様々な形で自分の出身地域の活性化に活かしてくれることを期待しています。具体的には、日本全国を7つのブロックに分け、ブロックごとに選考し、各ブロックとも学科ごとに最大10名程度の合格者を決定します（下枠内参照）。

また、FIT入試（B方式）においては、優秀な成績で合格した者の中から、一定の基準により各学科6名（南関東ブロック以外の各地域ブロックから1名ずつ）に学部独自の特別奨学金（年額30万円、一定の条件を満たすことにより最大4年間の継続受給可能）を給付します。

FIT入試の募集人員は、法律学科・政治学科それぞれ「A方式・B方式あわせて最大80名」です。指定校制は採りませんので、受験生の皆さん自身の希望によって、法律学科・政治学科いずれかの学科に出願することができます。また、同じ学科であれば、A方式とB方式の併願も可能です。私たちの心をときめかせてくれるような、才能に光り輝き、次世代の日本をリードしていけるような意欲あふれる皆さんとの出会いを、法学部の教員一同、楽しみにしています。

～B方式における『地域ブロック』について～

日本全国を次の7つのブロックに分け、各ブロックから法律学科・政治学科それぞれ最大10名程度を合格者とします。（地域ブロックは出身高等学校の所在地による区別です）

- | | | | |
|-----------|-------------|--------------|-----------|
| I. 北海道・東北 | II. 北関東・甲信越 | III. 南関東（*1） | IV. 北陸・東海 |
| V. 近畿 | VI. 中国・四国 | VII. 九州・沖縄 | |

B方式における選考の結果、各地域ブロックの定員の充足率に著しい偏りが生じた場合や、定員の充足が困難な場合は、総合成績を優先した調整を行います。

*1 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設は、「III. 南関東」に含めます。

出願資格

以下の(1)～(3)の条件をすべて満たしていなければなりません。

	A方式	B方式
(1)	次のいずれかに該当する者。 (a) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、および2018年3月卒業見込みの者。 (b) 高等専門学校の第3学年を修了した者、および2018年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条にある高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および2018年3月31日までにこれに該当する見込みのある者。	次のいずれかに該当する者。(*2) (a) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、および2018年3月卒業見込みの者。 (b) 高等専門学校の第3学年を修了した者、および2018年3月修了見込みの者。 (c) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、および2018年3月までに修了見込みの者。
(2)	慶應義塾大学法学部（法律学科または政治学科）への志望理由、それかの学科での勉学を強く希望する者。	および入学後の目標と構想が明確であり、第一志望としていず
(3)	学業を含めたさまざまな活動に積極的に取り組み、次に例示するような優れた実績をあげた者。 (a) 文化・芸術・技芸・運動等の分野において優れた成績や成果を残したことが証明できる者。 (b) 学外活動や課外活動において高いリーダーシップを発揮し、そのことが何らかの形で証明できる者。 (c) ボランティア活動や地域の社会的活動などを熱心に行い、その実績を示せる者。 (d) 国際交流や開発途上国援助などの活動に積極的に取り組み、その実績を示せる者。 (e) 入試科目に限られない全般的な学業分野で極めて優秀な成績を取ったことを示せる者。 (f) その他の分野で、自己の関心や興味からユニークな実績をあげたことを証明できる者。	次の条件をすべて満たす者。 (a) 在籍している、または卒業した高等学校等より、調査書の発行を受けられる者。 (b) 高等学校等での学業成績が優秀で、高等学校の全期間の成績を記載した調査書における指定の各教科（外国語、数学、国語、地理歴史、公民）および全体の評定平均値が4.0以上の者。(*3) (c) 在籍している、もしくは卒業した高等学校等に現在在籍している教員より、評価書（本学所定用紙）1通を提出できる者。

*2 B方式においては、外国の高等学校の卒業（見込み）者、高校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む）の合格者および科目合格者は出願資格を満たしません。

*3 卒業見込み者は第3学年1学期までの成績が記載された調査書（2期制の高等学校の場合は、第3学年前期までの成績が記載された調査書）を提出してください。第3学年前期の成績を記載できない2期制の高等学校の場合は、その旨が調査書備考欄に記載されていることが必要です。なお、高等学校のカリキュラムや留学・編入学等の事情により、該当する科目について不明な点がある場合は、入学センターにお問い合わせください。

募集人員（法学部合計 最大160名）

法律学科 A方式・B方式合計 最大80名

政治学科 A方式・B方式合計 最大80名

	法律学科		政治学科	
A方式				
B方式	最大80名	各ブロック最大10名 { I. 北海道・東北 II. 北関東・甲信越 III. 南関東 (*4) IV. 北陸・東海 V. 近畿 VI. 中国・四国 VII. 九州・沖縄	最大80名	各ブロック最大10名 { I. 北海道・東北 II. 北関東・甲信越 III. 南関東 (*4) IV. 北陸・東海 V. 近畿 VI. 中国・四国 VII. 九州・沖縄

B方式における『地域ブロック』について

日本全国を7つのブロックに分け、各ブロックから法律学科・政治学科それぞれ最大10名程度を合格者とします（地域ブロックは出身高等学校の所在地による区別です）。ただし、選考の結果、各地域ブロックの定員の充足率に著しい偏りが生じた場合や、定員の充足が困難な場合は、総合成績を優先した調整を行います。

*4 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設は、「Ⅲ. 南関東」に含めます。

提出書類

	A方式	B方式
(1)	志願者調書★：経歴、知的成長の過程など、これまでのあなたの足跡を記入してください。	
(2)	志望理由書★：あなたが慶應義塾大学法学部を志望した理由、入学後、何をどのように学び、また自分の夢をどう実現したいかを志望理由と関連させて、2000字以内で記述してください。	
(3)	調査書等(高等学校入学以降の成績・卒業に関する証明書類)(*5)：詳細は募集要項にて確認してください。	調査書：高等学校の全期間の成績が記載されたものを提出してください。卒業見込み者は第3学年1学期までの成績が記載された調査書(2期制の高等学校の場合は、第3学年前期までの成績が記載された調査書)を提出してください。第3学年前期の成績を記載できない2期制の高等学校の場合は、その旨が調査書備考欄に記載されている必要があります。
(4)	自己推薦書★：出願資格(3)の(a)から(f)に該当する活動の実績を示しつつ、あなたがいかにか魅力的な人物か自由に記入してください。書類のみ受け付けます。工作物、ビデオ、CD等は受け付けません。なお、可能なかぎり実績を証明する書類を添付してください。また、高等学校の成績証明書以外で、あなたの学力を客観的に証明する書類(外国語能力を示す公的機関の証明書のコピーなど)があれば提出してください。	評価書★：在学している、もしくは卒業した高等学校に現在在籍している担当教員あるいは高等学校長が、記入・厳封した評価書を提出してください。

※A方式・B方式を併願する場合、(1)志願者調書・(2)志望理由書は1部でかまいません。

※★は大学所定用紙をダウンロード

*5 A方式において、高等学校卒業以外の者の成績評価は提出書類(3)に準じます。詳細は、募集要項にて確認してください。社会人等で成績証明書が提出できない場合や、その他不明な点がある場合は入学センターにお問い合わせください。

選考方法と日程

	A方式	B方式
出願期間	次の①および②を行うことにより出願は完了します。一方のみでは出願は受け付けられませんので注意してください。 ①「出願登録(インターネット)」および「入学検定料の支払」 2017年8月1日(火)～8月25日(金) ※締切日は17:00まで ②「出願書類の郵送」 2017年8月23日(水)～8月25日(金) ※締切日消印有効(海外からの出願は締切日必着)	
第一次選考内容	書類選考：提出書類をもとに書類選考を行い第一次合格者を決定します。	
第一次選考合格発表	2017年9月8日(金) 10:00	
第二次選考	法律学科・政治学科ともに2017年9月16日(土)	法律学科・政治学科ともに2017年9月17日(日)
第二次選考内容	(1) 論述試験 教員が模擬講義(50分間)を行い、講義後に論述形式の試験(45分間)を行います。試験では法律学ないしは政治学の修得に必要な理解力、考察力、表現力などを評価します。(両学科とも同時に同一の内容にて実施します) (2) グループ討論 6～7名程度からなるグループに分かれ、与えられたテーマについて討論(45分間)を行います。理解力や表現力、社会性や自分の考えを主張する能力などを考查します。討論の開始前に全員に各2分間で自己アピールを兼ねた自己紹介を行っていただきます。また、討論終了後、担当教員より質問することがあります。	(1) 総合考查 I 与えられた資料(グラフ、表、データ、条文、判例など)から読み取れることを400字程度にまとめてもらいます。社会科学に必要な論理的な思考力、考察力を評価します。(45分間) II 与えられたテーマのもと400字程度の小論文を書いてもらいます。ここでは創造力、独創性、発想力を考查します。(45分間) (2) 面接試験 個人面接を行います。(一人あたり10分間)
	各方式におけるすべての選考で好成績を収めた者の中から、A方式・B方式を合わせて、法律学科・政治学科それぞれ最大80名に入学を許可します。	
第二次選考合格発表	2017年9月26日(火) 10:00	
入学手続期間	2017年12月1日(金)～12月7日(木) 締切日消印有効	

Q&A

Q 1 . 浪人生や社会人でも受験できますか。また、受験できる場合、何か不利になることはありますか。

A 1 . FIT入試は浪人生や社会人でも受験が可能です（ただし、B方式の場合は卒業した高等学校等から調査書の発行を受けられる場合に限ります）。また、現役の高校生であるかどうかということ自体による有利・不利はありません。法学部では多様な入試の窓口を擁していますが、その各々で受験できる資格は異なります。詳しくはそれぞれの募集要項で確認してください。

Q 2 . 法律学科と政治学科の併願はできますか。A方式とB方式の併願はどうでしょう。また、一般入試や帰国生入試との併願はできますか。

A 2 . FIT入試において法律学科と政治学科の併願はできませんが、各学科においてA方式とB方式の両方式の併願は可能です。また、一般入試や帰国生入試を同じ受験生が受験することは、まったく問題がありませんし、一度何らかの入試で不合格になったことが不利になることもありません。

Q 3 . 慶應義塾大学の他学部、あるいは他大学と併願してもかまいませんか。

A 3 . 本学の他学部や他大学への出願に関しては、それを禁止するものではありませんが、FIT入試の出願資格は、あくまで本学法学部法律学科ないしは政治学科を第一志望とする者です。

Q 4 . A方式の第二次選考における模擬講義とはどのような内容ですか。また、グループ討論はどのようなテーマで行われるのでしょうか。

A 4 . 講義の内容は、大学1年生が受講して理解できるレベルのものです。模擬講義の概要やグループ討論のテーマなど、昨年度の実施概要をホームページに掲載していますので参照してください。

http://www.admissions.keio.ac.jp/exam/fit17_a.html

Q 5 . B方式の総合考査ではどのような問題が出題されるのでしょうか。

A 5 . 昨年度の総合考査の問題を、ホームページに掲載していますので参照してください。

http://www.admissions.keio.ac.jp/exam/fit17_b.html

Q 6 . B方式の地域ブロックにおいて、自分が該当するブロックはどのようにして決まりますか。また、そのブロックからの出願者が定員より少なければ全員が自動的に合格となるのですか。

A 6 . 地域ブロックは、出身高等学校の所在地による区別です。また、仮に地域ブロックの定員よりも出願者が少ない場合でも選考は行いますので必ず合格するわけではありません。なお、各都道府県が属する地域ブロックは募集要項で確認してください。

昨年度の選考結果

学科	募集人員	方式	出願者数			第一次合格者数			最終合格者数		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
法律学科	最大80名	A方式	74	118	192	23	40	63	7	25	32
		B方式	59	89	148	35	65	100	20	47	67
政治学科	最大80名	A方式	78	137	215	21	48	69	7	25	32
		B方式	69	115	184	35	65	100	21	47	68

上記の合格者には、A方式・B方式の両方式に合格した者を含みます。

募集要項入手方法

2018年度募集要項は、6月上旬より下記WEBサイトからダウンロードできます（冊子での販売は行いません）。

URL： http://www.admissions.keio.ac.jp/exam/ao_hou.html

※2018年度入試から、出願方法が「インターネット出願」に変わります。詳細は募集要項で確認してください。

問い合わせ

慶應義塾大学入学センター TEL 03-5427-1566（土・日・祝日を除く、8:30～17:00）